



働くしかない高齢者、安楽死論じる学生 給付不足の日本

有料会員限定記事

2019年1月19日20時14分

シェア 21

ツイート list

ブックマーク 6

スクラップ

メール

印刷



生活困窮者の支援を続けるNPO法人「ほっとプラス」の藤田孝典・代表理事=埼玉県上尾市の聖学院大学

藤田孝典さん 「下流老人」著者に聞く

A I が予測する2万通りの日本の未来 分岐点はすぐそこ

寒中11時間、リンゴあめ売る74歳 ローアと6年

去りゆくひと、死んでゆく島 老いる日本はどこに向かう

長寿命化で働くお年寄りが増えていきます。政府も「生きがい就労」を後押ししますが、生活が苦しくて働くという人も多いのではないのでしょうか。ベストセラー「下流老人」の著者で、生活困窮者支援を続けるNPO法人「ほっとプラス」の藤田孝典さん(36)に、支援で出会うお年寄りの実態を聴きました。

—お年寄りからは、どんな相談が多いですか。

「働きたい」というより「働かざるを得ない」という人からの相談が増えています。要因として大きいのは、年金支給額の減少でしょう。それから、上がり続ける医療や介護の保険料負担です。

政府は年金を補うために、就労収入を上げていこうとしていますが、65~74歳の前期高齢者はすでに働いている人が多いと思います。総務省の就業構造基本調査でも65~74歳は3~5割程度働いている。

健康上の問題がなく、日常生活に支障なく喜ばせる期間である「健康寿命」は男性が72歳、女性が75歳ぐらい。個人差があるし、職種にもよりますが、健康寿命を考えても、肉体労働や単純作業は75歳ぐらいまでが限界と感ずります。

—生きがいというより、収入のための就労が多いという印象でしょうか。

そうですね。2015年度の内閣府の調査ですが、お年寄りに「今後も働きたいと思う理由」を尋ねると、日本は「収入がほしい」が最も多く、49%を占めました。一方、ドイツやスウェーデンは「仕事そのものが面白いから」が最も高く約半分です。

日本との違いは、社会保障が手厚く、老後にそれほどお金がかからない点です。

世界トップの高齢化率を考えたとき、国民負担率もトップレベルでおかしくないはずなのに、日本は著しく低い。高齢化率が上がれば給付のパイは膨らんでいくのに、負担のパイが小さいままでは、給付の分け前がじりじりと減って、不安になるのは当たり前です。

センター試験2日目も速報

センター試験2日目も、問題と解答を特集ページで速報します。



紙面にプラス

デジタル限定

PR 注目情報



海外勤務特集掲載中!

年収800万円以上の海外求人数多 海外でキャリアを活かしませんか?



築25年でも4480万円

賢い人は知っていた。仲介手数料 定額49.8万円のお得な売却術!



フローチャートで確認

どちらで確定申告? 医療費控除とセルフメディケーション税制

1500点を超える応募から受賞作発表

東京の魅力を発信する写真コンテスト

映画『マスカレード・ホテル』公開記念

東野圭吾×木村拓哉スペシャル対談

PUFFY・大貫亜美が大韓航空常務と

「世界へ羽ばたくために」対談を実施

築25年の家でも4480万円!

お得に売却する方法を教えます!

日本での働き方を厚切り!

就職前に解いておきたい5つのWHY?

朝日新聞社会部 公式ツイッター

@Asahi_Shakai からのツイート

※Twitterのサービスが混み合っている時など、ツイートが表示されない場合もあります。

Asahi_Shakai

朝日新聞社会部



アクセスランキング

もっと見る

読まれています

昨日のトップ5

水面下、社会は崩壊してきている

——もし 国民負担率 を上げず、給付を削る方にいった場合、この先、どんなことが起こるでしょうか。

社会が不安定化する方向に進むと思います。生活苦からの自殺や犯罪、自分自身の生活も苦しい子ども世代から高齢になった親への虐待。介護殺人などのニュースを見ると、水面下で、社会は崩壊してきていると感じます。

いまも 生活保護 世帯の半分は高齢者世帯が占めています。相談者にも、家族が支えきれず、貯蓄が底をつき、年金だけで暮らせず、生活保護 というパターンが多いです。

しかし、生活保護 を受けるお年寄り、氷山の一角です。実際は、生活保護 の基準以下で暮らしながらも、保護を受けていないお年寄りの方が多いのです。我々の推計では、700万人ぐらいいると思います。

栄養のある食事がまともに取れてない、社会参加もできていない、病気・要介護になってもお金を出す余力もない。こうした層が、ぎりぎりまで働き、肉体がボロボロになった状態で踏ん張り切れなくなったとき、医療費 や介護費 は逆に増大するかもしれません。

これまでの日本は良くも悪くも、家族が高齢者の問題を吸収してきました。高度経済成長期 はそれでよかったかもしれませんが、年9%近くの経済成長なんていまや異次元です。若者の収入で親を養えというのは無理。子を養うので精いっぱい。さらに 核家族化、単身化も進んでいます。家族も込みの 社会保障 の仕組みに無理があるのです。

サービス受けられる社会保障を

—— 社会保障 は、年金を始め、いつも世代間ギャップの問題がつきまといま。高齢者ですが、現役世代も家計が苦しい。そこをどう乗り越えればいいのでしょうか。

私は大学で講義をもっているのですが、福祉の勉強をしている学生からも、終末期の安楽死を認める法律を作るべきではないかと意見が出て、議論になります。確かに若者・現役世代に、社会保障 のお金はほとんど使われていません。しかし、高齢者も1人当たり換算すると、ほかの国と比べて高くないのです。

問題は、社会保障 全体のパイが足りていないということです。そこをみんなで議論していくべきです。

私は高齢者だけでなく、現役世代も、また経済力のあるなしに関わらず全員が、生活に必要な最低限のサービスを受けられるような 社会保障 を作っていくべきだと思います。

公営住宅の整備、保育や教育の無償化など、必要なものを現金ではなく、現物やサービスで支給していく。「ベーシック・インカム」ではなく、「ベーシック・サービス」です。

——そのためには 国民負担率 増の議論がセットになります。日本には根強い税へのアレルギーがありますが。

「みんなにとって必要なものは何か」という議論から始めると、教育、介護、医療、保育、住宅、交通、通信と、だいたい定まってくると思います。そこに集中的に税を投下する。

貯金にたよらずとも生活できる環境を整えれば、税や保険料でとっていいという話につながってくると思います。まずは税金をあげたら、負担が軽くなって助かったという実績をつくらないといけな。目に見えてこんなに変わるとことを示すことで、税への意識も変わっていくと思います。

エイジング・ニッポン 記事一覧

ひとが去り、島も村も死んでゆ

低成長の日本になぜ残るの？

大きすぎるペンギンのひなが話題「人、入ってません？」

出会いは突然…そっくりな犬猫「兄弟」、夜は添い寝です

刑事人生かけた「おい、小池！」 容疑者の遺体見た無念

大統領会見に韓国内から批判 共通語は「ネロナムブル」

棺の友に届けた記章 あのときの東大生さん、ありがとう

ソーシャルランキング

もっと見る

フェイスブック | はてなブックマーク

- 1 バンダイ元社員を詐欺容疑 1909 |
- 2 J R只見線、台湾の客大歓迎 1344 |
- 3 ホテルが今年も10連休中 943 |

Facebook | Twitter | 記者ページ

注目コンテンツ

ご案内

【&BAZAAR】

冬をもっと快適に！

スポット暖房でポカポカ生活



【&TRAVEL】

今年訪問をお薦めする城とは

城旅へようこそ



【&M】

フォルクスワーゲンの原点

初代シロッコが秘めた魅力



【&w】

読者プレゼント実施中！

ほんやのほん



好書好日

マンガは命の次に大事なもの

重量挙げのホープが語る漫画愛



WEBRONZA

NHKの「共犯者たち」

今日の編集長おすすめ記事



エアスタイルマガジン

便利な立地で気取らない店

サクセスレストランVol.9



T JAPAN

J・ヴィゴ監督にまつわる2作

傑作『アタラント号』が復刻に



GLOBE+

タンザニアにも「甲子園」

アフリカの若き球児たち



sippo

書店街の路地に生きた猫

ひっそり愛され25年



アートやスポーツ、子供向けの楽しい講座満載